

船舶事故等調査報告書

平成21年3月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008仙第41号	
事故等名	油送船さくら丸漁船第三十六海進丸衝突	
発生年月日時刻	平成20年12月2日16時08分ごろ	
発生場所	岩手県久慈牛島灯台北東方約5海里 (北緯40° 17. 3'、東経141° 54. 0')	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年1月15日 仙台・地方事故調査官が、海難報告書等を精査 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報		
船種・船名・総トン数	A 油送船 さくら丸 2, 997トン	
船舶番号	134952	
船舶所有者	上野トランステック株式会社	
船種・船名・総トン数	B 漁船 第三十六海進丸 11トン	
漁船登録番号	IT2-4098	
船舶所有者	個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長 二級海技士(航海)	
	A 一等航海士 三級海技士(航海)	
	A 甲板手 なし 30歳、海上経験年数18年	
	B 船長 一級小型船舶操縦士	
負傷者	A なし	
	B なし	
損傷	A 右舷船橋付近の外板に擦過傷及びハンドレールの曲損	
	B 船首右舷側及びバルバスバウに亀裂及び凹損	
事故等の経過	<p>A船は、茨城県鹿島港から青森県八戸港へ向け航行中、右舷前方に漁船群が岩手県久慈港方面に帰港するのを視認して監視していたところ、B船を含む数隻の漁船が接近し、2隻が船首方を横切り、また、船尾方を航過した船もあったため、B船も船尾方を航過すると思い、そのままの針路、速力を維持して航行し、さらに接近して危険を感じ、左舵をとったが間に合わず、平成20年12月2日16時08分ごろ、A船右舷舷側とB船右舷船首が衝突した。</p> <p>B船は、イカー一本釣り漁の操業を終えて、八戸沖から久慈港へ帰港中、A船の接近に気付かずに航行し、衝突直前にA船に気付いて、機関を中立として左舵をとったが間に合わず、衝突した。</p> <p>当時、天候は晴で、風力5の南南西風が吹き、視界は良好で、潮候はほぼ高潮時であった。</p>	
分析	気象・海象の関与	なし
	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	判明した事項の解析	<p>A船は、B船を認めた後、適切な見張りを行わず、衝突を避けるための措置をとらなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、A船の接近に気付かず、衝突を避けるための協力動作をとらなかったものと考えられる。</p>

原因	本事故は、A船がB船を認めた後、適切な見張りを行わず、また、B船がA船の接近に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
その他の事項	なし